

2024年9月27日

## 長崎県就活情報誌およびポータルサイトに当社情報が掲載されました

長崎県と長崎新聞がタイアップして発行されている長崎県内就活情報誌「Nagasaki Reader」（以下「NR」）の9月号（造船特集）および長崎県が開設し、県内企業の情報発信を行う「ジョブナビ長崎」に当社記事を掲載いただきましたので、お知らせ致します。

NRにつきましては次ページに掲載記事を引用しており、ジョブナビ長崎につきましては以下URLからご覧ください。

当社は、一人でも多くの学生や求職されている方々に当社へ関心を持っていただけるよう、今後とも積極的な企業情報の発信に努めてまいります。

<ジョブナビ長崎 URL>

<https://jinkatsu.pref.nagasaki.jp/home/interview>



**佐世保重工業株式会社**

1965年以前に空撮された  
佐世保重工業

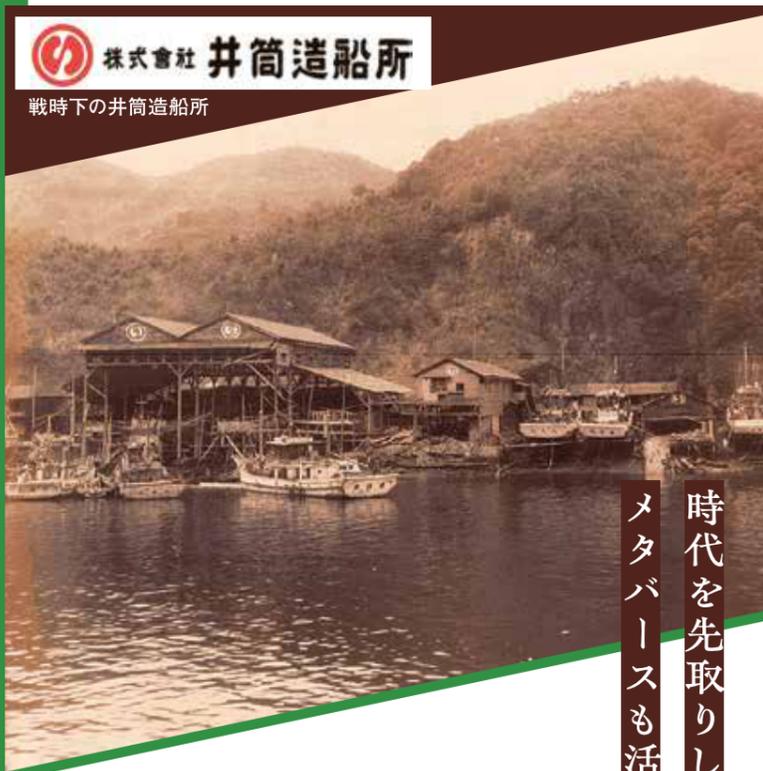
旧海軍工廠から  
受け継ぐ技術・伝統



**株式会社 ふうおか渡辺造船所**  
FUKUOKA WATANABE SHIPBUILDING

1976年当時、長崎市土井首町へ移転初期の  
ふうおか渡辺造船所

まき網漁船が  
全国ブランド



**株式会社 井筒造船所**

戦時下の井筒造船所

時代を先取りし  
メタバースも活用

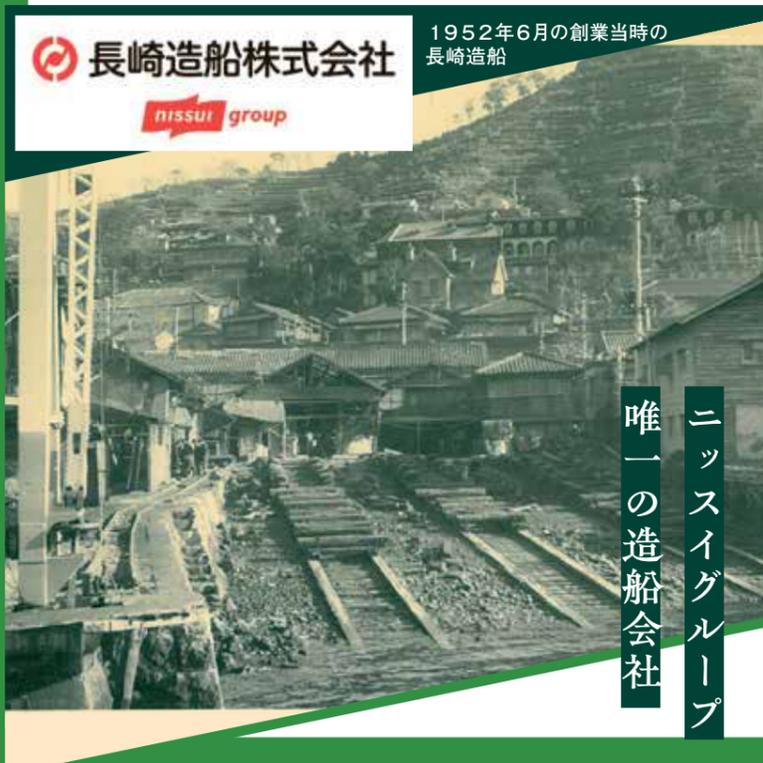
# 造船

ぞうせん

幕末、江戸幕府が日本初の艦船修理工場「長崎鋸鉄所」を設立して以来、海に囲まれた長崎県では、造船業が基幹産業として発展を続けてきました。今回の特集では、長年にわたり本県の造船業を支えてきた伝統ある5社を紹介し、ます。長い歴史の中で培われた経験と技術で、それぞれが特色ある事業を展開しています。



本特集の感想を  
QRコードから  
教えてください

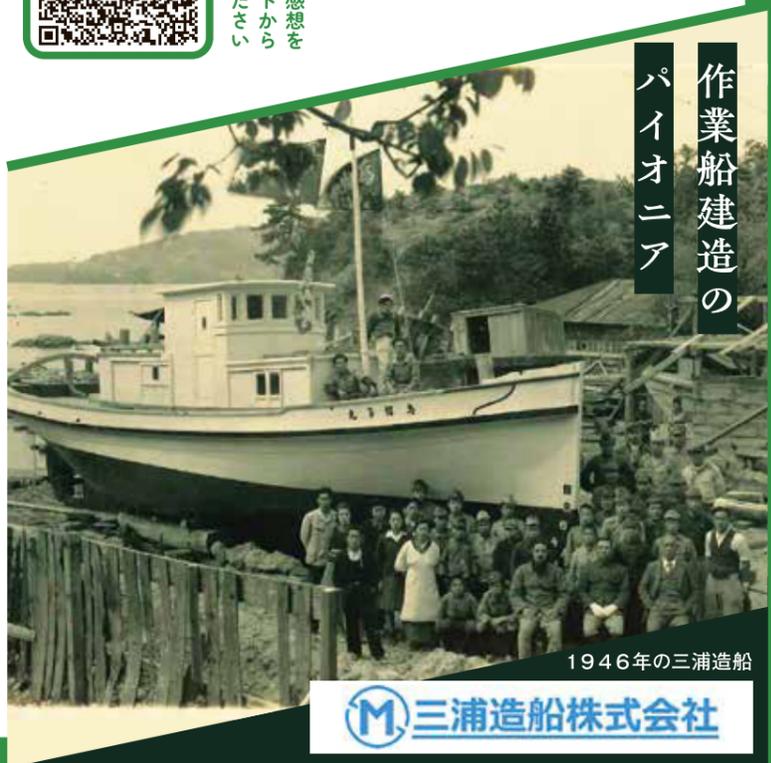


**長崎造船株式会社**

nissui group

1952年6月の創業当時の  
長崎造船

ニッスイグループ  
唯一の造船会社



作業船建造の  
パイオニア

1946年の三浦造船

**三浦造船株式会社**


**佐世保重工業株式会社**

# 修繕船事業が好調 未来へ新たな飛躍



当社は明治時代に設置された佐世保海軍工廠(こうしょう)を出自とする造船会社です。当時から使い続ける設備もあり濃厚な歴史の香りが残ります。近年は造船業界を取り巻く厳しい環境に対応し、事業内容を修繕船事業・機械事業に絞り込むことで、質の高い商品とサービスの提供を実現。高い技術力と伝統を基に取り組んでいる修繕船事業では、海上自衛隊が拠点を置く「佐世保」の地にある企業として、日本の海を守り、国民の生命を守る重要な自衛隊艦船を技術で支えています。修繕の分野は今後も需要拡大が見込まれており、当社の活躍する場面がますます増えることが期待されます。経営リソースを重点事業に集中することで効率化を高め、ビジネスチャンスには積極的に挑戦しながら、未来へ向けて新たな飛躍を目指します。



## 世界に通用する高い技術力

当社は多種多様な職種により成り立っており、幅広い専門知識と技術、ノウハウを持ったスペシャリストが数多く在籍していることが特長です。国内だけでなく世界に通用する高い技術力を武器に、多くの実績を残しています。

## VOICE



山口 琴乃さん  
＝長崎工業高出身＝  
勤続6年目

### 女性も現場に出て働きやすい環境

艦艇・修繕部の機関課に所属しています。主に船のエンジンルームで作業を行っており、船の中のポンプ類を工場で解放整備を行い、整備後はまた元に戻すというような作業をしています。ポンプの解放整備後、不備なく元に戻せた時はやりがいを感じます。

**ここがオススメ!** 現場で作業する中で力作業もありますが、男性社員のサポートがあり、女性でも働きやすいです。必要な資格は入社後に取得できるので、やってみたい!という気持ちがあればできます。ぜひ一緒に働きましょう。

### 業務を通じ幅広い知識・技能を習得

主に海上自衛隊艦艇の艦載武器や油圧装置の修理、検査工事などを担当しています。修理船から整備機器をクレーンで陸揚げし、工場で分解整備したのち組み立て、作動確認を行います。チームで協力して行う作業もあれば、機器の故障探求を行ったりと業務を通じ幅広い知識や技能を身に付けられます。

**ここがオススメ!** 会社の休日が土日祝日なので休日のプライベートの予定が組みやすいです。また部署間での交流も多く、先輩方もたくさんアドバイスしてくれるのでスキルアップしながら楽しく働ける職場だと思います。



永吉 珠一さん  
＝鹿町工業高出身＝  
勤続5年目

## 注目TOPIC



## 第4ドックを改修 国内屈指の規模に

2022年1月に新造船事業を休止し、修繕と機械の2事業体制に移行しました。建造専用だった第4ドックを修繕もできるよう設備投資を行い、保有する修繕ドックは国内屈指の規模に。艦艇のほか大型客船や探査船、LNG運搬船など技術難度の高い修繕工事に積極的に取り組み、同業他社との差別化を図っています。

佐世保重工業株式会社  
佐世保市立神町1

